



2021(令和3)年7月25日発行

発行/大阪大学医学部附属病院広報委員会(総務課)

住所/〒565-0871大阪府吹田市山田丘2-15

TEL/06-6879-5111(代表)

QRコードから本院ホームページをご覧ください

<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp>

禁転載(この紙面は再生紙を使っています)

新型コロナウイルス
感染症対策について

新型コロナウイルス感染症は、無症状感染者からも伝播のリスクがあることがわかっております。本院では、有症状者への対策に注力するだけではなく、無症状感染者が存在していても、感染が拡大しないような対策を強化することが重要と考えております。

新型コロナウイルス感染症は、感染者の咳などの飛沫を吸い込むことによる飛沫感染、手に付着したウイルスが、目・鼻・口の粘膜を介して感染する接触感染によって感染します。

本院では、不織布マスクを適切に装着することによって、飛沫の拡散リスクを十分に低減させることができるため、飛沫防止ガードは、声の聞こえづらさの問題もあり、設置しておりません。また、病院玄関における手指衛生を徹底することは、ウイルスの持ち込みリスクを低減させることができると考えております。

病院に来訪される患者さん、ご家族の方、職員が日ごろから基本的な感染対策を実施しておくことが、新型コロナウイルス感染症に関わらずすべての感染伝播防止に重要と考えております。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

手洗い6つのポイントと本院の手指衛生への取組を動画でご覧ください。 **動画2**

入院中の赤ちゃんとお母さんで会える

本院の新生児集中治療室(以下NICU)・新生児回復室(GCU)には、さまざまな病気の赤ちゃんが多く入院しています。しかしコロナ禍による面会制限により、生まれてきた赤ちゃんに2週間ものあいだ一度も会えないお父さんや、ご家族がおられました。そこで、本院総合周産期母子医療センターや小児医療センターなどが中心となり、ご家族が自宅からパソコンなどを使ってオンラインで赤ちゃんに会える面会システムを構築し、クラウドファンディング(以下CF)を実施。第一目標額の3倍を超える寄附をいただいたことで、操作性に優れた安全性も高いシステムが完成し、7月19日より、NICUでの本格運用がスタートしています。

生まれたばかりの赤ちゃんは、ご両親などと一緒に過ごすことで愛着・信頼感などが形成され、家族の一員になっていきます。そのためNICUや小児病棟では、面会を治療の一環とする考え方があり、ご両親の24時間面会や、祖父、兄弟・姉妹による面会などない状況が長く続きました。

新 診療科長等ごあいさつ

●心臓血管外科長

みやがわ しげる
宮川 繁

このたび、心臓血管外科長を拝命しました。当科の特徴は、心臓弁膜症、冠動脈疾患、重症心不全、先天性心疾患、そして末梢動脈疾患等全ての循環器疾患に対する外科治療が可能なことであり、これまで、再生医療、低侵襲外科治療等の高度先進医療を提供してまいりました。さらに、循環器内科の医師とハートチームを形成し、患者さんの病気を内科、外科両面から検証することにより、患者さんにとってベストな高度先進医療を提供しています。これからも循環器内科の医師と共同で難治性疾患の治療にあたるとともに、高度先進医療を提供していこうと考えております。

(令和3年7月1日就任)

●感染制御部長

くつな さとし
忽那 賢志

感染制御部長に就任しました忽那と申します。6月までは東京の国立国際医療研究センター病院で感染症の診療と感染対策に当たっていました。新型コロナウイルス感染症の流行によって病院の感染対策もこれまで以上に質の向上が求められる時代になりました。本院の患者、そして府民の皆さまを感染から守ることも私たち阪大病院感染制御部の使命です。皆さまに安心して本院で医療を受けていただけるように、最善を尽くしてまいります。

(令和3年7月1日就任)

看護部長おすすめ御膳

～初夏の和風御膳～

6月29日の看護部長おすすめ御膳は、岩崎朋之看護部長からの提案「ひと味違う野菜の天ぷら」、「旬の食材」、「初夏を感じる和のデザート」をもとにメニューを考案しました。旬の新ごぼうやみょうがは天ぷらに、モロヘイヤはお浸しにして、デザートには冷たいわらび餅を提供しました。色とりどりの紫陽花を台紙にして、見ても食べても季節を感じていただけるよう工夫しました。初夏を感じる涼しげなメニューに看護部長直筆のカードを添えた和風御膳は、患者さんより大変ご好評いただきました。これからも病院食を楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。



メニュー

- 季節野菜の天ぷら
- モロヘイヤのお浸し
- 松風焼
- 清し汁
- 御飯
- デザート

ウィズコロナ時代の
本院独自のシステムを構築

写真⑤ NICU・GCUの赤ちゃん用のシステム(Osaka-N system)タブレットからカメラとバーコードリーダーが出ています。写真⑥ 成人用のシステム(Osaka-A system)タブレットだけのシンプルな作りです。手に持たなくても、支柱に固定しました。

そのため、家族の絆を少しでも深めていただけるよう、いつでも、どこからでも赤ちゃんの様子を見ていただけるオンライン面会システムの構築をめざし、CFを活用するプロジェクトを立ち上げました。

CFの第一目標は「生まれてきた赤ちゃんの映像と声を届けるシステムの構築」で、第二目標は、小児病棟に入院中の子どもを対象とした「長期入院中の小児患者と家族をつなげるシステムへの発展」。

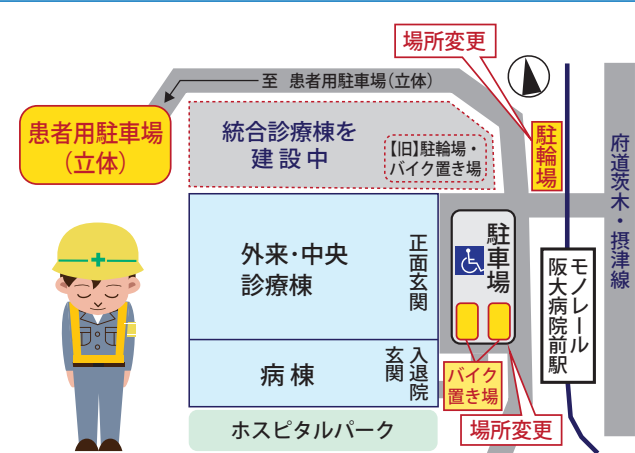
第三目標は「成人の新型コロナウイルス感染症患者への応用」でした。期間は、2020年9月14日(月)から11月30日(月)。SNSなどで大勢の人たちに情報を発信する努力を続けた結果、予想以上の反響があり、1170人の支援者から総額32万1388円、000円の資金を調達することができました。

システムを開発にあたり重視したのは、まずはセキュリティ面でした。院内には患者さんに関する膨大な個人情報があり、既存のWebサービスを使用すると、外部からの不正アクセスなどによる情報漏洩の可能性があります。高度な安全性を備えた本院独自のシステムを構築しました。

当システムでは、赤ちゃんを間違えないようIDで管理し、ご両親などに事前登録していただきます。そして赤ちゃんの様子を見たい時間をオンライン予約し、パスワード入力と二段階認証を経てログインします。

もうひとつ重視したのは継続性です。ご両親はもちろんNICUの看護師にとっても使いやすいシステムにすることで、一過性でなく、今後も長く続けられるシステムにしたいと考えました。5月末に全ての機器が配備され、看護師への説明会や、ご両親による操作性の確認を経て、NICUにて運用がスタートしており、現在、重症の小児病棟への展開を進めています。

駐輪場・バイク置き場の場所変更



令和7年運用開始予定の「総合診療棟」の建設工事が始まっています。工事期間中は、騒音や工事車両の通行等、ご不便とご理解をお願いいたします。また、駐輪場及びバイク置き場を移転しました。以前とは異なる、自転車とバイクを停める場所が分かれておりますのでご利用の際は間違いないようご注意ください。

